

憲法講座に500余人！



「憲法を生かすための必要性がよくわかった！」（感想文）

中央と首都圏憲法会議は三日、憲法講座を専修大学で開き五一五名が参加しました。明治大学の山田朗教授は自衛隊の変容変質ぶりを報告、「新政権が海外派兵にどのように向き合うか監視を」と強調しました。一橋大学の杉原泰雄名誉教授は「人類は、苦渋の体験を経て福祉国家、戦争違法化を原理に憲法体制を築き上げた」と主張。日本が「二〇〇年に一度の危機」に陥った背景に過度の米国依存があるとし、世界の流れに逆行するものだと指摘しました。また、共産党の穀田恵二衆議院議員は、政権交代後の国会の変化をリアルに報告、「憲法会議出版の情勢」だと訴えました。（左は挨拶する大黒作治代表委員）

憲法会議は一〇月二日、拡大常任幹事会を開催、各県、各団体の代表四七名が参加しました。「鳩山内閣発足とたたかひの基本方向」の主題に沿って討論。新しい情勢を生かして、海外派兵反対、定数削減・選挙制度改革反対など、憲法の平和主義・民主主義原則を徹底させ、憲法が規定する生存権、教育権、その他の生活と権利の拡充を求めたたたかひを一気に広げようと思意思統一しました。会議では高田公子代表委員が挨拶し、共産党の笠井亮衆議院議員が特別報告を行いました。

今こそ改憲阻止の大運動を！
拡大常任幹事会で意思統一



中央憲法講座申し込み受付中

- 講座名「資本主義と憲法」 杉原泰雄氏（一橋大名誉教授）
- 開催日 1月15日、29日（金）、2月19日（金）
3月5日（金）19日（金）
- 申し込みは中央憲法会議へ（定員50名）